

★法福寺行事のご案内

1月

令和八年初詣

新年祈禱「大般若護摩祈禱厳修」

日時 元日（木・祝）～五日（月）

午前十時半より午後三時半まで

一時間毎に祈禱

祈願 厄除け・家内安全・商売繁盛・合格

良縁・交通安全等

祈願料 五千円・一万円・二万円

◎甘酒接待

◎初春縁起物

お守り・念珠・破魔矢・福熊手等

ご祈禱を受けられる方には客殿にてお屠蘇のお接待がございます。家族で申し込まれても全員本堂でご祈禱とお加持が受けられます。ご家族でお申し込み下さい。



※新年の祈禱は新年祈禱用申し込み書でお申し込み下さい。ファックス・郵送もお受け致します。こちらのQRコードを読み込み申込フォームでも申し込み可能です。



どんど焼き

日時 一月十一日（日）

午前十時より午前十一時頃まで

祈願料 志納

おれ・お正月飾りなどのお焚き上げ（不燃物・人形・大型類はご遠慮下さい）

2月

法福寺厄除け星祭り節分祭

日時 二月一日（日）毎年二月第一日曜日厳修

午前十時より午後三時まで

祈禱 三十分毎に御祈禱と豆撒き



祈禱料

祈願名 祈禱料 授与札 名前読上 祈禱期間

星祭祈禱

千円 紙札 なし 当日

星祭祈禱

三千円 金札 当日

普通祈禱

五千円 中木札 当日

厄除祈禱

一万円 大木札 当日

厄除月例祈禱

二万円 特大木札 毎月一回

厄除年間祈禱

三万円 特大木札 年間毎日

法人年間祈禱

三万円 特大木札 年間毎日

厄男募集

当日の厄男（昭和六十年生まれ）を募集しています。当日は袴を着けて頂き、豆まきが出来ます。詳細は当山まで。

本年の厄年

本厄の方

男 平成十四、昭和六十、四十二年生まれ

女 平成二十年、六年、昭和四十一年生まれ

一代の厄年

男 二十五歳、四十二歳（大厄）、六十一歳

女 十九歳、三十三歳（大厄）、六十一歳

当日の催し

ご祈禱を申し込み頂いた方は全員本堂に上がって、祈禱を受けて頂き、その後豆まきをして頂きます。

◎各務原ひびき会英傑太鼓保存会による奉納太鼓（午前十時から午後三時まで）

◎「法福寺厄除け大根汁」ご接待

寒い時期に無病息災を願ひ温かい大根を食べ、健康な一年になることを願うものです。ご家族で一緒に食べて互いの健康を願って下さい。

◎「法福寺節分マンダラ市」開催

キッチンカーやこだわりのお店が多数出店予定です。

3月

春のお彼岸法要

日時 三月二十日（金・祝）春分の日

午前十時半より一座のみ

法要 お彼岸法要ならびに風の塚法要

供養料 志納

お彼岸にあたり当山永代過去帳及び各家の先祖並び水子の供養を行います。

※当日参拝できない方は、郵送、ファックス、メールでもお受け致します。

風庵はなれ「里山ギャラリースペース」

地域の皆様の拠り所として使って頂く為に、展覧会だけでなくカルチャースクール等として幅広い方々の学びの場や交流の場となることを考えています。駐車場も充分完備しており、音を出したりしても問題ありません。是非ご利用ください。詳細は風庵へお尋ねください。

床面積

①ルーム 68㎡（5.6×12.6m）

②ルーム 27㎡（3.7×7.2m）

天井高

2.7m

駐車場 50台（法福寺兼用）

システム 各種教室で使用する場合は時間貸し

企画展等で使用の場合は一日もしくは一週間単位

★風庵行事のご案内

1・2月

味噌づくり

令和七年一月十八日（土）、十九日（日）、二月八日（土）、九日（日）

★青空カフェのご案内

令和七年十二月二十二日～令和八年三月十九日まで冬季休業いたします。

★里山ギャラリーの行事報告

十月三十一日～十一月四日

本澤昭宏 絵画展「心躍る日々」

十月三日～八日

鈴木靖子・樋口佳子・久次米讓三人展（書と日本画）

★風庵からのご案内

お寺のお昼ごはん

「特別な場所で特別でない優しいお母さんの味を」コンセプトにお庫裏さんが考案した野菜を中心としたヘルシーメニューで構成されています。お陰様でリピーター続出です（笑）毎週火曜日に予約制で行います。お庫裏さんの気まぐれ（？）で休むこともありますからご確認をお願いします。

住職スケジュール（12～3月）★

12月28日 法福寺檀徒会奉仕の日年末境内掃除／法福寺

1月1日～5日 法福寺新年祈禱／法福寺

1月11日 どんど焼き／法福寺

1月12日 延算寺初業師法要出仕／岐阜市岩井 延算寺

2月1日 法福寺節分祭／法福寺

3月15日 法福寺檀徒会 奉仕の日仏具磨き／法福寺

住職感受 ― 日々の暮らしに思いを寄せて ―

ジャパンデー2025 和 문화フェスティバル

2025年10月17日(金)〜18日(土) 主催 Japanskedny
後援 在チエコ日本国大使館、オストラヴァ市役所、NIKKA WHISKY、チエコ日本文化センター、JTI

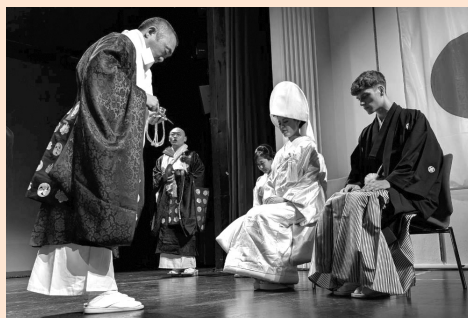
法福寺住職
西部 元照

この度、チエコ共和国 オストラヴァ市
アコード文化センターで開催されました、
ジャパンデー2025 和 문화フェスティ
バルに参加する機会を頂きました。イベ
ントに先立ち今回名古屋の旅行会社(株)
JFF様を通じて参加された東海地区を
中心とした出演者の方々18名とオストラ
ヴァ市役所への訪問と市長並びに副市長
への表敬訪問を行いました。両氏からの
ご挨拶の後、お茶とお菓子を頂き、オス
トラヴァ市のマスコット

キャラクターの人形を含む
手土産まで頂戴しました。
オストラヴァ市はチエコ共
和国第3の都市で19世紀後
半はオーストリア帝国にお
ける鉄鋼生産の拠点として
栄えましたが、現在では鉄
工所は閉鎖され観光拠点と
して見学出来るようになって
います。自然豊かなしつ
とりとしたヨーロッパの田
舎町の雰囲気が残る素敵な
町でした。オストラヴァ市

の歓待を受け、参加者一同イベントへの
気合?が高まりました。

当日は最初の出演でした。名古屋市・
和装カジウラ様からの出演者ならびに他
の出演者総出による日本の伝統文化の紹
介イベントです。お宮参り↓七五三↓振



袖/帯結び↓紋付袴↓留袖↓訪問着↓花
嫁行列、そして我々の行う仏前結婚式で
す。実際にチエコ在住の結婚を控えたカッ
プルに紋付袴と白無垢で参加してもらい
(花嫁は日本人!) 仏前結婚式を行いました。
始まる前は会場に空席が目立ちまし
たが、始まってみるとほぼ満席になっ
ており、現地の日本の仏前結婚式への関心
度の高さを感じました。主催者のお話で
は観客の多くが仏前結婚式を楽しみにし
ていた方が多かったと聞
きました。実際に現地の

テレビ取材班も我々の楽
屋から新郎新婦の和装へ
の着替えの様子を長い時
間をかけて撮影していま
した。

日本では殆ど行われな
くなりました仏前結婚式
ですが、実際に戒師を勤
めてみますと、本来の結
婚の意味がよくわかり素
晴らしいと感じます。御
仏の前で表白文を読み上

げ、夫婦へ戒を受け、二人から誓いの言
葉を読み上げてもらい、数珠の交換を行
い、両家固めの杯を行います。結婚とい
うのは契約ではなく、仏前での仏様への
両家と二人の誓いと一家を治める覚悟を
決める事であります。そこには新郎新婦

という個人の誓いも存在しますが、両家
の絆も存在します。

結婚、出産は尊い御縁であります。双方
の見た目や性格の一致は表向きには必要で
すが、心の深いところでご縁が繋がってい
るという事が大切であると思います。戒師
が最初に読み上げる説戒をご紹介します。

家庭は英雄の隠れ家なり。夫は常に顧外
に在って心身を労苦して一家経営の資料を
作るをこの本領とす。妻は出でては夫の仕
事を助け、入つては夫に慰安を与え、能く
家政を鹽梅して、夫の活動に後顧の憂な
かしめ一家興隆の運命を開くを其の願と
し、夫は妻の心労を感謝し能く敬し能くあ
いし苦楽を共にすることを念とし相依り、
相扶け以て一家を治む可し。
要約するに

一、男女は元より同一能力にして唯其の
天賦の方面の異なるのみ、夫婦は互
いに能く相方を理解し敬愛すべし。
二、夫婦は鉄の如き動かざる信心を決定し、
常に明るき心をもつて生活し、夫婦間
に秘密あることを絶対に排除すべし。

久しぶりにヨーロッパを訪れました。
景観に対する考え方、自然への敬意、歴
史的建造物の保存に関する考え方、利便
性よりも美的感覚を優先する...等々、
ヨーロッパの奥深さや感性の豊かさを実
感しました。やはり、外から日本を見る
事は大切です。今の日本は留学も含めて
外に出ていく若者が減っているそうです。
若いうちに海外に出て自身の感性を磨き、
改めて日本の良さを知る事が大切だと思
います。チエコ共和国プラハはとても美

しくかわいい街です。是非一度訪れてみ
て下さい。セントレアから夜中出発フィ
ンランド航空ヘルシンキ乗り継ぎで翌朝
にはプラハに到着できます。治安も良く、
料理はまずまずですがビールは美味しいです。

★住職の報告

十月十三日〜二十日

チエコ共和国オストラバ市における
日本文化フェスティバル参加

住職感受をご参照ください。

十一月十二日〜十三日

三宝会研修旅行

西国三十三観音霊場参拝

(十五番 今熊野観音寺〜二十一 番穴太寺)

会長を務めておりますお寺さんの会「三宝会」
の研修旅行を行いました。昨年に引き続き西国
三十三観音霊場を今年は十五番・今熊野観音寺
〜二十一 番穴太寺まで参拝いたしました。京都
市内のお寺は紅葉シーズンと重なり観光客とイ
ンバウンドでこった返していました。特に清水寺
は進むのが困難なほど人であふれていました。

十月二十九日〜三十日

高野山真言宗東海地区教師研修会参加
(三重県松阪市 松阪フレックスホテル)

恒例の東海地区教師研修会に参加しました。
この研修会は東海地区(岐阜・濃飛・愛知・三
重・静岡)の教師(僧侶)が一堂に会し五支所が
当番制で開催するお坊さんの研修会です。今回
は三重支所担当で「お大師様の人間観」我々は
いかなる存在か「お大師様の生死観」かえる
いのち」を武内孝善先生による講演会でした。
改めて真言僧侶として空海の偉大さと密教の
奥深さを再認識する機会になりました。